

花びと通信

花と緑のあふれるまちづくり

No.30 2018年8月20日

花びと会ちば

平成 30 年度 総会報告

4月20日（金）千葉市市民活動支援センターにおいて、総会が開催されました。

29年度の事業報告、収支決算報告並びに30年度の受託事業（啓発・イベント）、自主事業（研修会・講習会）、収支予算がすべて承認されました。その後、任期満了による役員改選が行われ、会長に仙波慶子さん、副会長に樫浦敏彰さん、高橋公子さん、日野達弥さんが選出され承認されました。

総会に先立ち、斎藤久芳さん（元中央・稲毛公園緑地事務所長・会員）から、『大賀ハスの魅力』と題して、発掘、開花そして千葉市における取り組みについてスライドやテキストを使ってご講演をいただきました。



千葉市の花「オオガハス」制定 25 周年記念シンポジウム

日 時：平成 30 年 6 月 20 日（水）13：30～16：00

場 所：千葉市生涯学習センター 2 階ホール

共 催：花びと会ちば 千葉市

参加者：131 名

第1部 基調報告 & 基調講演

《基調報告》

～千葉市の花「オオガハス」の制定と
その後の普及・啓発への取り組み～
千葉市都市局公園緑地部長 竹本和義さん

《基調講演》

「あなたが綺麗になる蓮のお話」

京都花蓮研究会理事、生蓮寺副住職、生命科学博士 高畑公紀さん



第2部 パネルディスカッション

*テーマ 市民とともに育むハスの魅力について

*コーディネーター 坂口三代治さん（千葉市まちづくり未来研究所研究員）

*パネリスト 仙波慶子（花びと会ちば 会長）

金子建一郎（大賀ハスのふるさとの会 会長）

斎藤久芳（千葉市まちづくり未来研究所研究員）

金子利昭（行田市まちづくり都市整備部都市計画課公園担当主幹）

2018 年 大賀ハスマツリ

6月16日の土曜日から、翌週日曜日の24日までの9日間、毎年恒例の「大賀ハスマツリ」が、千葉公園を会場として開催されました。今年は大賀ハスが千葉市の花として制定され25周年を迎え、まつり期間中の20日には、千葉市生涯学習センターにおいてシンポジウムの開催、更に新規イベントの「夜ハス」も実施されるなど、例年以上の盛り上がりとなりました。



初日のオープニングセレモニーには、熊谷千葉市長はじめ、超党派の市議さんたちから構成される「花のあふれるまちづくり推進議員連盟（花議連）」のみなさま、ご協力をいただいている各団体の方々のご出席を賜り、このまつりに華を添えていただきました。

ハス池の傍らでは、大賀ハスを愛でながらのお茶席も大好評、前半の土日はプロアーティストの感動的な演奏、和太鼓の躍動的なパフォーマンス、後半の土日は市民演奏家による楽しく和やかな演奏で常に熱気が溢れておりました。綿打池の周辺通路には軽食や和菓子、新鮮野菜などの販売店が並びました。一方、藤棚では象鼻杯を待つ長蛇の列！平日には、今話題のコケ玉作りなどのワンコイン講座が開催され、大成功で終えることができました。主催者として、まつり開催にあたり惜しみないご協力をくださいましたみなさま、並びにご来園下さいました皆様に厚くお礼を申し上げます。また来年も大賀ハスの美しさをひとりでも多くの方にお伝えできるように頑張りたいと思います。 日野達弥

ハスガイド

6月17～24日の8日間、私と大槻征一さんと交互で行いました。昨年は8～9時に1回のガイドでしたが、今年は参加者を増やすため30分毎に2回行いました。はじめに大賀ハスの由来について概説した後、「五感を使ってハスを楽しむ」をテーマにガイドを行いました。視覚では、ハスの花の4日間の特徴を説明し花を観察します。聴覚では、ハスの開花音～科学音と風流音について説明。嗅覚では、1～2日目の花の香りを比べます。触覚では、葉の表面や葉柄を手で触り、花の発熱も体験。味覚では、大賀ハスは料理法によっては美味しいと説明しました。 斎藤久芳

象鼻杯

今年も大人気の象鼻杯。最近の傾向は、インターネットによるところで千葉市以外（海外）からの参加者も多く、千葉の大賀ハスマツリが広く知られてきたことを実感します。この祭に合わせて家族を連れてロスから帰国したリピーターもありました。また、以前は参加者も中高齢の大人が大半でしたが、このところ小さい子ども連れの家族や若いグループが増え、SNS用の写真や動画を撮ったりと楽しみ方が変わってきています。期間中の土曜と日曜の4回の開催で約500人が風流を体験しました。



斎藤美智子

苔玉づくり

期間中のワンコイン講座、土日の講習に約 160 人の参加を得て大盛況であった。

自ら手を動かし、ものを作る参加型の出し物には人が集まるようだ。また、テント内での苔玉づくりには子供たちの参加が目立った。やることは単純なので、どろんこ遊びの延長にあったようだ。しかし、植物をドロで包むと、そこそこの大きさになり小さい手で悪戦苦闘し、親が手を貸す光景は微笑ましかった。植物を選ぶことからやってもらったので、その際、すぐ選ぶ方、なかなか選べない方など、いろいろ、苔玉づくりを通して一時の出会い、会話を楽しんだ。今年の夏は、はんばない暑さが続いている。参加された方の苔玉の生育状態はどうか心配である。

藤平眞一郎



バイオリン演奏



慣れない育児で毎日奮闘していた私に、大賀ハスまつりへのご依頼を頂きました。当日は、お天気にも恵まれ、朝早いのに立ち見の方もいる程たくさんの人が聴いてくださりました。有名なクラシックの曲やタンゴ、シャンソン、ディズニー映画など、幅広い世代の方にお楽しみ頂けるように選曲し演奏しました。終演後お客様に「演奏良かったよ」と声をかけて頂き嬉しかったです。来年は、成長した

子どもとゆっくり大賀ハスを観にきます。

蓮見佳奈

千葉美工和会

昨年に続き 2 回目の参加です。自分たちの手作り作品を『楽しく作り、皆様と共に楽しく語らいながら 楽しく遊ぶ』をモットーに参加させて頂いております。竹とんぼ、ワイヤー細工、和装小物、シュロバッタなど 昔懐かしい物ばかり。同世代のお客様との尽きぬ話に元気をもらって帰ります。次回も、私たち会員の健康が許す限り参加させていただきます。意欲だけは満々です。

大塚九州男

市民演奏

緑とピンクのコントラストが印象的な大賀ハス咲き誇る池のほとりで、演奏させていただくのは今回で 3 回目です。演奏する場所によって響きが全く異なりますが、よく響く蓮華亭の響きは吹いている私たちもとっても心地よいのです。『となりのトトロ』では、前に座っている小学生くらいの女の子が、ノリノリで頭が揺れていてとっても可愛く、また昭和



歌謡『愛の讃歌』『蘇州夜曲』『宇宙戦艦ヤマト』などを演奏し、観客の方々の笑顔も印象的でした。

ステラ・サキソフォン・アンサンブル代表 田中由紀

氣功太極拳

7月18日、19日の早朝、天と地と樹林に囲まれて目の前には、一日花、二日花、三日花、四日花、様々な顔をみせてくれた大賀ハス。私達「悠の会」は、大賀ハスにご挨拶をして立ったままの禅（立禅）に入りました。両掌と指先、全身に2000年の時空をこえて育まれているハスの香気が私達をつつみ癒してくれます。心が静かになり、遠くから小鳥のさえずり、風のささやき、くるまの音が聞こえてきます。このままでいたら声なき声まで聞こえるのでは、との思いも。この後の太極拳の心地よさは言葉では表現できません。友好と平和の使者大賀ハス、楊名時太極拳のモットーは健康友好平和、ご縁を感じました。清々しい早朝のひと時でした。

楊名時太極拳師範 竹内敦

ハス研修

日時：6月30日（土） 6：45～16：30 研修先：府中市 蓮を観る会

大賀ハスまつりが終わって一週間後、大賀一郎博士が20年住んでおられた、府中市の「蓮を観る会」に行ってきました。府中市郷土の森公園・修正池には36種類の蓮が栽培されておりましたが、今年は残念ながら生育が悪かった。しかし、南先生が交配された「知里の曙」だけは満開でした。その後、隣接する博物館に行き府中市の歴史と文化と自然の紹介を見学しました。昼食後は、広大な公園を散策しました。紫陽花祭りがおこなわれていました。役場、尋常小学校など復元建物が10戸。萩のトンネルを抜け、池、田んぼ、小川などが有り、四季折々の花が楽しめる公園でした。豊かな自然を満喫した一日でした。



今後の予定

月 日	時 間	内 容	場 所
9月13日	10：00～11：30	会員研修 ハーバリウム	千葉中央 CC
9月22日	8：30～10：00	花苗植え込み	市民会館
10月13日	13：30～15：00	親子寄せ植え	三陽メディアフラワーミュージアム
10月20日 21日	10：00～15：00	フラワーフェスティバル ちば2018	三陽メディアフラワーミュージアム （旧）花の美術館
11月	10：00～	もみじまつり	泉自然公園（青葉の森）
11月上旬		花議連交流会	議会棟
11月14日 12月6日	10：00～12：00	公民館講師派遣事業	新宿公民館 千草台公民館



個人会員＆賛助会員 募集！

花や緑に関心のある方一緒に活動しませんか。

研修会、講座、講演会等を開催しています。

個人会員・団体会員：年会費：1,000円

賛助会員 個人：年会費：3,000円

団体・企業年会費：5,000円

花びと会ちば

事務局「千葉市都市局公園緑地部緑政課」

Tel043-245-5753 Fax043-245-5885

midoritohana@city.chiba.lg.jp